

北海道における水道事業等の広域化など 多様な運営形態の推進について

平成25年11月25日
北海道環境生活部環境局環境推進課

本日の話題

1. 北海道の水道について
2. 北海道水道ビジョンについて
3. 水道整備基本構想について
4. 地域別会議について

1. 北海道の水道について

- 地勢・気象等 面積は国土の約22%を占め、日本海側や内陸で降雪量が多いため、水資源は豊富で渇水が比較的少ない。
- 行政区域内人口 約547万人(H23年度末現在の住民基本台帳)
- 水道普及率 道内:97.9%(全国:97.6%)【H23年度末現在】
- 水道事業数 上水道:100事業、用水供給:5事業、簡易水道:288事業
専用水道497事業 計890事業【H23年度末現在】
- 施設整備費用が割高
 - ・土地が広い(給水人口密度が低い)、冬季対応として浄水場に屋根が必要
 - ・凍結防止のため管の埋設深度が深い等

2. 北海道水道ビジョンについて(1)

「北海道水道ビジョン」(平成23年3月策定)概要

目的

本道における水道関係者の共通の目標となる水道の将来像やその実現のための方策を示し、関係者の取組を推進するために策定。

計画期間

計画期間は20年(目標年度:平成42年度)

将来像

- ・安全で安心な水道水の安定的な供給
- ・その実現のための水道事業の持続的な運営

推進に当たって

○取組の基本

- ・地域水道ビジョンの策定
- ・現状や課題の把握
- ・課題解決に向けた計画の策定

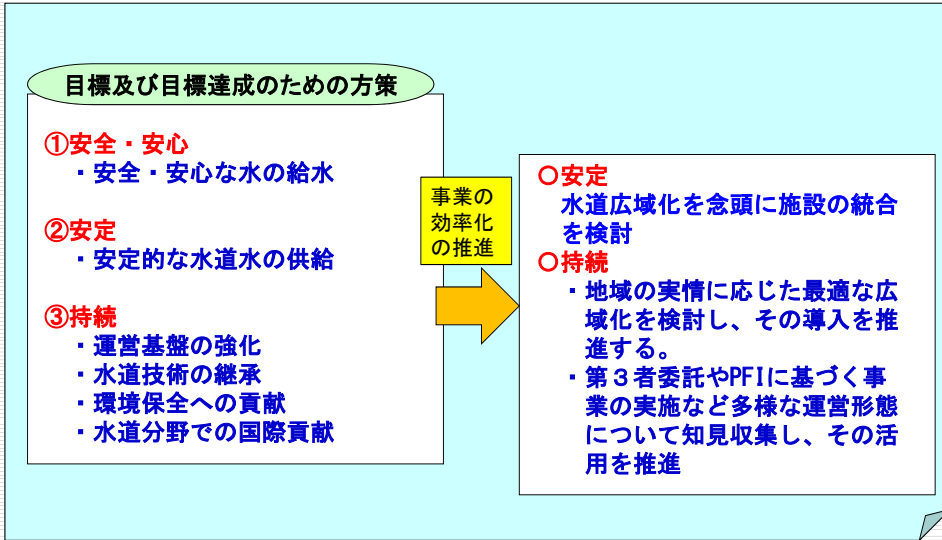
○目指す方向

- ・施設:統合と分散
- ・運営:様々な形態の広域化

各主体の役割

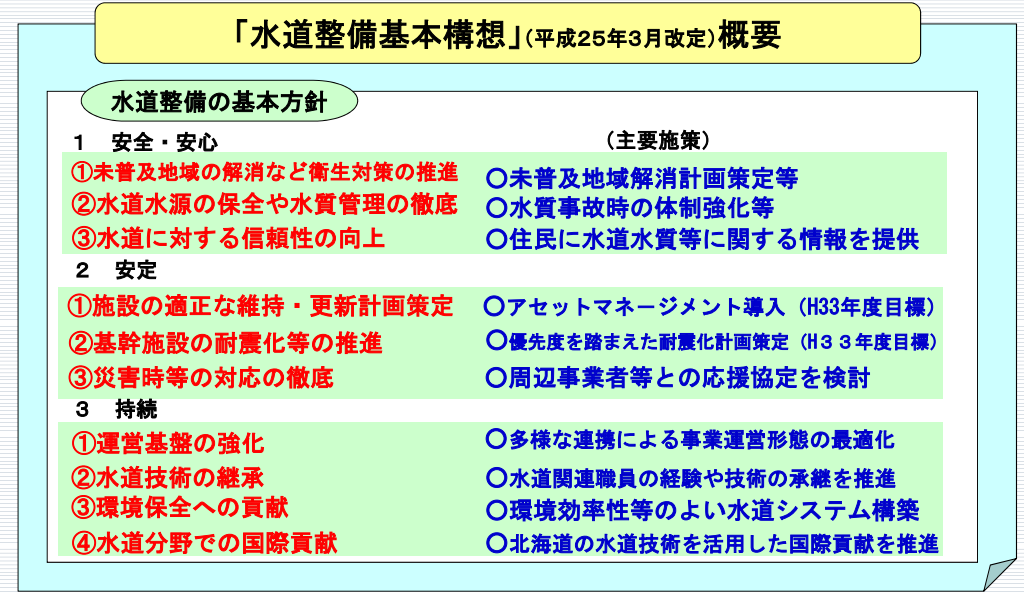
- ・道:水道事業者間・民間事業者との連携を推進(コーディネート役)等
- ・水道事業者:周辺の水道事業者や民間事業者との連携の取り組みを推進等
- ・住民:水道事業を支えるパートナー等

2. 北海道水道ビジョンについて(2)



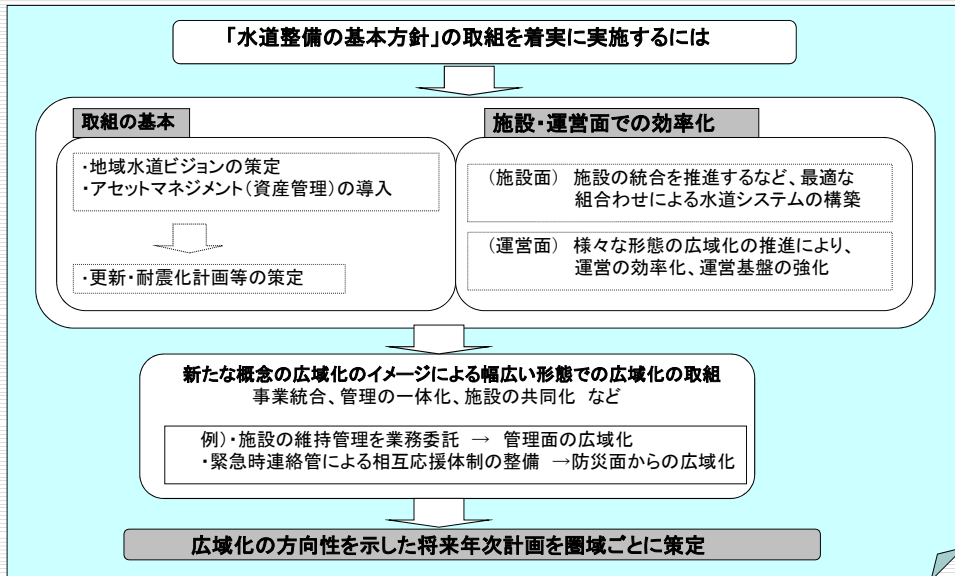
5

3. 水道整備基本構想について(1)



6

3. 水道整備基本構想について(2)



7

3. 水道整備基本構想について(3)

将来年次計画(全道版)

区分	平成23年度	平成28年度	平成33年度	平成38年度	平成42年度
取組の基本	各種計画の策定	地域水道ビジョン、アセットマネジメント等、更新・耐震化計画等			
施設整備計画	水質管理	クリプトスポリジウム等の耐塩素性病原生物対策、浄水施設の運転管理等			
	拡張・改良	区域拡張、増補改良、水源開発等	区域拡張、増補改良、水源開発等		
	更新・耐震化	老朽施設等の更新、基幹施設の耐震化、配水池容量の増強			
	施設統合	連絡管の布設、遠隔監視装置の整備		連絡管の布設、遠隔監視装置の整備	
維持管理計画	管理の一体化	【業務委託】営業業務、管路管理業務、運転管理業務、水質管理業務			
	施設の共同化	【第三者委託】浄水施設の管理業務等			
		【PFI事業】浄水施設の更新・設計・建設・維持管理			
					【共同化】浄水施設、緊急時連絡管等

8

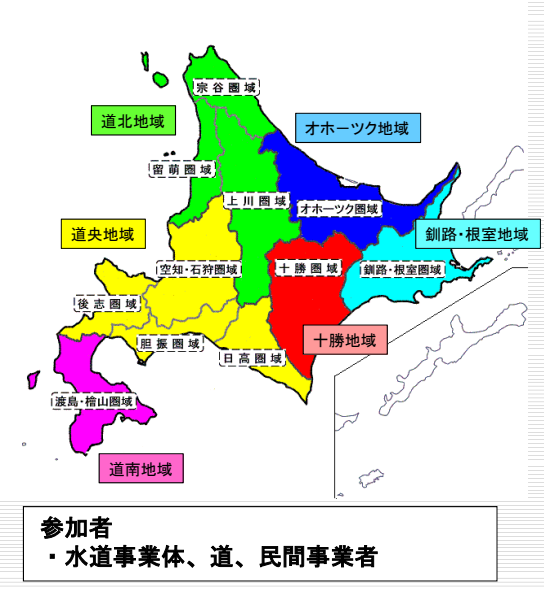
3. 水道整備基本構想について(4)

将来年次計画(全道版)【続き】							
経営	水道用水供給事業	石狩東部広域水道企業団					
		桂沢水道企業団					
		北空知広域水道企業団					
		十勝中部広域水道企業団					
		石狩西部広域水道企業団	H25~供給開始				
計画	水道事業	広域水道事業 4					4
		上水道事業 96					96
		簡易水道事業 304		↑↑↑↑	事業統合		144
その他	水道	小規模水道					

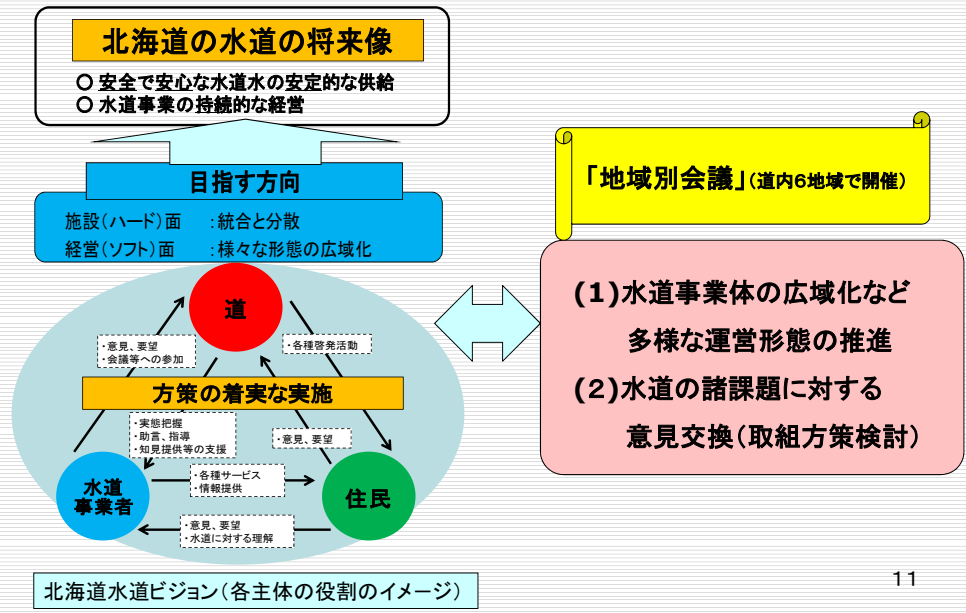
4. 地域別会議について(1)

○設置の背景と目的
 北海道水道ビジョンや水道整備基本構想の実現に向け、道、水道事業者等が連携・協力して広域化を中心とした多様な運営形態の導入のほか、諸課題の解決に向けた情報共有、意見交換、取組方策検討の場として地域別会議を開催。

○検討事項
 (1)水道事業者の広域化など多様な運営形態の推進
 →広域化、第三者委託、官民連携等に関する情報共有、意見交換、取組方策検討
 (2)水道の諸課題に対する意見交換
 →地域水道ビジョン、アセットマネジメント、耐震化計画の策定等



4. 地域別会議について(2)



4. 地域別会議について(3)

